



令和5年6月吉日

令和5年 第1回静岡県水難事故防止対策協議会報告

5月30日に令和5年第1回静岡県水難事故防止対策協議会に参加して来ました。会合の中から、各海上保安部(署)からの発表について、特筆すべきポイントを紹介します。

■ 清水海上保安部

カヌーやSupを使用したフィッシングの危険性を訴え、由比、蒲原、清水港、用宗港、焼津港などでは漁業者等から危惧する声が報告されました。これらを規制する法規がないので、注意喚起をおこなっていくほかない現状において、民間の各団体にも協力を要請されました。

また、各地でローカルルール策定の必要性も訴えていました。

■ 下田海上保安署

特に高齢化したベテランのサーファーやダイビング愛好家による事故が目立ちました。

夏季の海浜事故発生状況については、他県からの事故者が約8割を占めていました。

■ 御前崎海上保安署

サーフゾーンの救助において官民連携が必要であること、我々USPR(アスパー)からはマリンスポーツ愛好家達が自分で身を守る行動ができるように、普段からAEDの設置場所を把握しておくことの重要性、特定し難い場所への救急車等の誘導について、救助の為に水上オートバイが出艇するスロープ使用の問題等を報告しました。

当団体は、マリンスポーツの安全性向上を目指し、安心してマリンスポーツを楽しむための環境を作っていくことを目的としています。そのために、マリンスポーツ各団体とも情報共有を図り、連携・協力していきたいと考えております。

今後行政機関及び救難機関等との間で各種マリンスポーツ関係者、愛好家に向けて情報共有の発信をして行く事が必要と考えております。各マリンスポーツ団体、ローカル団体、個人のSNSなどでも発信して頂くことで、

多くの方に安全を意識して頂き、事故の未然防止と安全啓蒙に役立てればと考えております。

情報の拡散を含め、安全な水辺の構築を協力して行えたらと思います。

一緒にマリンレジャーをする友人とも共有して、悲しい水の事故を防いで下さい。

そして、楽しい夏だったと言えるように過ごして下さい！

静岡県水上オートバイレスキュー連合体
U.S.P.R(アスパー)代表 野口 貴史